

# 石川県剣連だより 剣風春秋

第53号

一発行一



一般財団法人  
石川県剣道連盟

〒920-0811  
金沢市小坂町西 57-3 KSハイツ205号室  
TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341  
E-mail:ishikawa-kendo@iaa.itkeeper.ne.jp  
URL www://ishikawa-kendo.com

## 特集記事

- 1頁 「設立70周年記念式典」
- 3頁 「第40回女子剣道大会」
- 4頁 「中学校部活動地域移行」  
の現状（小松桜木剣正会）

「設立70周年・法人化10周年」  
記念式典を終えて



実行委員長

近藤 繁彦  
(副会長)

### 一 記念大会

4月に「居合道大会」、5月に「郡市対抗」、9月にメインの「段別選手権」を中学生の部新設、希望者による剣道基本技稽古法の演武という新しい試みのもと実施しました。12月は「女子剣道大会」を東西対抗の形で刷新を図り、試合内容が充実、女子剣道の拡大につながるものと確信しております。

### 二 記念式典・祝賀会

11月5日挙行された記念式典では、南会長の式辞のあと、ご来賓としてお迎えした馳知事のご祝辞をいただきました。

そして、次の皆様方（敬称略）に南信廣会長より表彰授与がありました。



### 【特別功労賞】

※剣道界の振興発展に多大な貢献

- 穴田龍太郎（石剣連名誉会長）
- 田畑 武正（石剣連顧問）

### 【功労賞】

※郡市剣道の普及振興に尽力

- 米山 博（加賀市）
- 竹中 隆文（小松市）
- 上登 正人（能美郡市）
- 多田 一夫（白山市）
- 内山 利明（野々市市）

- 木村 正仁（金沢市）
- 米林 憲英（金沢市）
- 松原 秋夫（河北郡市）
- 澤田 清司（羽咋郡市）
- 本橋 克也（鹿島郡）
- 梅 平進（七尾市）
- 羽佐間 裕（鳳珠郡）
- 安原 重信（輪島市）
- 竹崎 武雄（珠洲市）
- 松原 剛（居合道）
- 三井 陽子（石剣連事務局）

### 【感謝状】

※県剣連活動を賛助・サポート

- (株) アイ・オー・データ機器
- 丹羽俊夫（金沢学院大学名誉教授）
- 服部光彦（服部デザイン設計室）
- 坂東久雄



続く祝賀会では、ご祝儀の「箏曲演奏」で始まり、近藤副会長の開会挨拶、森山スポーツ協会専務理事のご発声で乾杯、173名の参加を得て祝宴が盛大に行われました。途中、山下相談役・堀内金沢市剣連会長によるスピーチもあり、各所で思い出話や久闊を叙する談話に花が咲きました。中締めとして、末平相談役による万歳三唱、山邊副会長の開会挨拶で節目を祝う宴席の幕を閉じました。



### 三 70周年記念誌「近20年史」

加盟13郡市の20年間の活動、県剣連各委員会の活動を中心として、大会成績も併せて記念誌といたしました。今般の「設立70周年記念誌」は原稿集約、編集、校正等山邊副会長の献身的な作業により立派な記念誌が完成いたしました。



### 四 結びに「後世につなぐ」

70周年の節目に当たり、記念事業を通して、先人の「苦勞」に対する感謝の念と「正しい剣道」の次代への継承の思いを強くした次第です。次代を担う方々の更なる振興発展をお願いいたします。

## 石川県剣道連盟設立70周年記念 第67回県別剣道選手権大会

事業委員会

9月23日(祝)いしかわ総合スポーツセンターにおいて、設立70周年を記念して小中学生94人が演武を披露、中学生の初段と二段の部を皮切りに男女274選手が段別に分

かれて熱戦を繰り広げました。試合結果は次のとおりです。

#### 【男子 六段以上の部】

- 優勝 星野 敏之(警察官)
- 二位 米山 友博(警察官)

#### 【男子 五段の部】

- 優勝 後藤 拓真(警察官)
- 二位 藤井 力也(警察官)
- 三位 坂口 尚(教員)
- 三位 大田 貢平(警察官)

#### 【男子 四段の部】

- 優勝 割込 誠大(刑務官)
- 二位 高見 将吾(警察官)
- 三位 加地 巧(警察官)
- 三位 北井涉之輔(警察官)

#### 【男子 三段の部】

- 優勝 西村 友希(警察官)
- 二位 北 陽向(金沢星稜大)
- 三位 三津田光紀(金沢星稜大)
- 三位 大高 憲伸(金沢星稜大)

#### 【男子高校生以上 二段の部】

- 優勝 森 健真(羽咋工業高)
- 二位 中橋 宙(羽咋高)
- 三位 高橋 利空(羽咋工業高)
- 三位 竹田 侑真(金沢高)

#### 【男子高校生以上 初段の部】

- 優勝 森川承太郎(星稜高)
- 二位 田中 奏多(金沢桜丘高)

#### 【男子中学生 二段の部】

- 三位 山本 嘉信(県立工業高)
- 三位 山下 十夢(金沢龍谷高)
- 優勝 越智 優希(羽咋中)
- 二位 松生 英己(羽咋中)
- 三位 宮田 瑠己(森本中)
- 三位 池田 京真(城南中)

#### 【男子中学生 初段の部】

- 優勝 横井 快紀(中能登中)
- 二位 藤崎 大翔(輪島中)
- 三位 大山 幹大(宇ノ氣中)
- 三位 山田 廉斗(城南中)

#### 各部者 二段以下 優勝

#### 【女子 三段以上の部】

- 優勝 中越 優里(金沢大)
- 二位 河邊 朱華(専門学生)
- 三位 松原 桜(金沢星稜大)
- 三位 田中 文音(金大医学部)

#### 【女子高校生以上 二段の部】

- 優勝 亀井 琴葉(金沢高)
- 二位 松生 惟里(羽咋高)
- 三位 藤本 れん(金沢高)
- 三位 氣谷 妃風(金沢高)

#### 【女子高校生以上 初段の部】

- 優勝 松原 楓(金沢桜丘高)
- 二位 藤田 日心(金沢高)
- 三位 高田 璃珠(県立工業高)
- 三位 石黒 梨華(金沢二水高)

#### 【女子中学生 二段の部】

- 優勝 尾蔵 花(剣正会)
- 二位 中川 佳穂(剣正会)
- 三位 奥本早百合(羽咋中)
- 三位 山田 真緒(羽咋中)

#### 【女子中学生 初段の部】

- 優勝 桜木 佑圭(中能登中)
- 二位 中農 陽(宇ノ氣中)
- 三位 森 瑞姫(宇ノ氣中)
- 三位 丸山 優乃(剣正会)



三段以上各部  
優勝者





石川県剣道連盟設立70周年記念  
**第40回石川県女子剣道大会**  
 女性委員会

12月3日(日)、県立武道館において県内や県出身の大学生以上の女性剣士80名が集い、設立70周年記念大会が開催されました。

試合前、打太刀岩脇律子教士七段、仕太刀椿 由美教士七段による日本剣道形の演武を皮切りに、今大会は女子剣道の普及振興を目的に、従来の三人の団体戦から出場選手を東軍と西軍の二組に分けた東西対抗戦とし、白熱した試合が繰り広げられました。



試合は、15勝11敗12分けで東軍に軍配が上がり、初代「お松の方旗」を手にしました。子育てなどのブランクを挟んで競技を再開した「リバイバル剣士」6人をはじめとした表彰もありました。

閉会式後は、参加選手による昼食・交流会が準備され、協賛企業から提供の飲物・お菓子をいただきながら、女性剣士だけの世代を越えた親睦が図られ、合同稽古で大盛況にて幕を閉じました。

各賞の受賞者は次の皆さんです。

【優秀試合賞】

34将戦 大野木美樹―益野寿美代

10将戦 石端麻未―割込明子

7将戦 稲村 理一椿 由美

【優秀選手賞】

▽東軍 大野美月、福本ひより、

林 順子、至極英代、本田仁美

▽西軍 中越優里、山本純菜、

大田夏実、平田志保子、駒口雅子

【リバイバル剣士賞】

相上淳夏、新宮あかり、坂井知子、

鍋嶋裕子、串田寛子、竹多信恵

【最高齢者賞】

北村伸子



第69回全日本東西対抗剣道大会  
 9月24日(日)、沖縄県立武道館  
 広報委員会

岩脇夫妻そろって出場へ

東西40組に分かれ全国の精鋭が心と技を競う大舞台である標記大

会に、東軍監督として末平佑二範士八段、女子大将に岩脇律子教士七段、男子14将に岩脇 司教士八段夫妻が選抜され、熱戦が繰り広げられました。

女子大将を任せられた律子選手は、西(鹿児島)選手と緊迫した試合を続け、延長戦に入り面を取られ惜敗、男子14将の司選手は、大淵(福岡)選手に面を先取されるも直ちに面を取返し、接戦の中小手を返され惜敗となりました。

試合は男女とも西軍が勝利を納めました。40組の試合の中で「優秀試合賞」2組が発表され、男子14将戦岩脇選手―大淵選手の試合が選ばれました。お二人の更なるご活躍をお祈りします。





### 土日の中学校部活動地域移行に おける具体的取り組みとその意図



小松桜木剣正会  
代表 藤井 勝司

#### 一 土日の中学校剣道部地域移行の 具体的内容

令和5年4月より小松市のモデル事業として、小松桜木剣正会が受入れの地域スポーツ団体となり、土日の中学校剣道部地域移行がスタートしました。対象は、市内中学校で剣道部を有する5校及び参加を希望する市外中学校剣道部です。小松市武道館を活動拠点とした合同稽古スタイルで、土曜日の午前2時間、月2～3回、年間30回程度の開催を目的に取り組んでいます。活動を有意義な時間にするため具体的な活動方針を設定しました。

- ①各校剣道部員が集まる良い機会であるため、生徒間の交流から生まれる仲間意識と心の豊かさを目指した活動
- ②せつかく始めた剣道で有段者となれるよう、昇級・昇段審査に

合格できる技能の習得を目指した活動

③日本の伝統文化である剣道特有の精神面を大切に、国際社会の中で剣道経験者としてコミュニケーション力を高める活動

の3点です。また、この活動の担当指導者には中学校部活動に精通する当会所属の教員指導者を配置し、学校や生徒・保護者が安心して取り組める環境を作りました。参加中学生は初心者が多く、すり足リレーなど工夫を凝らしたメニュー、基本動作、木刀による剣道基本技稽古法、日本剣道形を中心に実施し、生徒同士の交流が深まり楽しく活動しています。

#### 二 土日の部活動地域移行の実施 パターンの考察

当会が今回実施した方法は、土曜日に限定した取り組みであることも踏まえ、活動拠点方式、つまり合同実施方式です。しかしながら、受入れ団体や対応指導者の確保、移動方法、活動場所の確保、競技種目の特性など、合同実施方式では難しいケースも考えられます。

地域移行については、どのような仕組みで実施するかはの制度設計が

最も重要となります。受入れ団体と指導人材、活動場所、中学生の競技レベル、活動時間と活動内容、中学生の移動方法など、各種要素を洗い出す必要があります。ある中学校剣道部に、ある郡市剣道連盟の先生が、当該学校へ出向いて指導すれば、地域移行の一つのパターンとなります。現在実施されている外部コーチや部活動指導員の仕組みの一部変更のみで対応可能となります。しかしながら、これは学校単位での完結パターンであり、中学校全体に展開する場合、多くの指導人材を確保する必要もあり、地域移行の普及に適しているとは言えない部分もあります。

中学校を立地場所でエリア分けし、数か所に分散して行う分散型の合同実施方式、競技レベルに応じて分散する方法も考えられます。

よって、持続可能な仕組みの構築に向けて、初心者受け入れなど剣道普及の側面、一定の技術力向上の要素などを勘案し、かつ、社会活動や社会教育では当たり前となっている「行政区域の枠を超えた広域の視点」も加味した検討が現実的だと考えています。

#### 三「県内初」地域移行モデル事業 実施の意図

少子化による人口減少時代、剣道人口の1層の減少が危惧されます。これは剣道界の縮小と存続



危機にリンクします。一方、社会の中での剣道を俯瞰し、その価値を考えたとき、社会で役立つ人材の育成という本来の価値とは別に、初段や式段といった有段資格は社会から一目置かれる「特有の価値」があります。履歴書にも記載できます。また、国際化の進展により外国の方々と接する場面が増える中、伝統文化「剣道」は、私の経験からも日本や日本文化を語る上で有力なコミュニケーション素材となります。そこで、剣道を持続的に発展させていく一つの打開策として、今回の活動方針「②有段資格の取得、③国際社会の日本文化」を設定しました。そして、数多の競技



種目がある中で剣道が社会的注目を集めるよう「県内初」にこだわり実施しました。二番煎じではメディアは取材すらしてくれません。しかしながら、取材は多く受けましたが、どうしても教員の働き方改革が焦点となり、今回の取材では剣道の良さをうまく発信することとは出来ませんでした。



この土日の部活動地域移行の時間を活用し、専門指導者による昇級昇段審査に向けた技能習得を進めた結果、受審者全員が合格することができ、中学生本人はもとよ

り、中学校剣道部顧問や保護者の方々からも喜びの声をいただきました。将来にわたり本人の自信の糧になれば嬉しい限りです。

実施に当たり、市教育委員会学校教育課長（当時）の岩脇司先生に多大なご協力をいただきました。私の意図に賛同してもらい、二人で細部を調整し、関係各所と協議しながらモデル事業としての決定と本年度4月スタートに至ることが出来た次第です。

#### 四 小松桜木剣正会における中学生の活動とこれまでの取り組み

市内中学校では剣道を専門的に指導できる教員が少なく、また、本県における中学生剣道の主軸が部活動という状況もあり、これまで小学生から中学生へステージを移した際の剣道に対する意欲と技量の低迷、剣道継続性の低下など、大きな課題に直面していました。そこで、中学生や保護者が不安なく剣道に打ち込める環境を作ろう、当時議論がはじまっていた部活動社会体育化も見据えた指導体制・活動環境を構築しよう、と、少年剣道教室の単なる延長ではない小松桜木剣正会中学生の部を創

設しました。創設後10年以上の歳月も流れ、皆さま方のご協力と当会中学生の努力もあり、週4〜5回の本格的な稽古や錬成会への参加、各種大会での上位進出、高校での剣道継続など、成果も出てきていると感じています。

この剣正会の組織体制や活動をベースに、今回、モデル事業として地域移行を実施していますが、以前より私案として制度設計していたため事務作業以外は問題なくスタートしています。

現段階においては、あくまで土日の地域移行であるため、中学校の代わりに実施しているのが実情であり、よって、受入れ側には、学校や生徒・保護者からの社会的信用が必要だと考えています。当会では、国際交流での剣道演武披露、留学生や訪日外国人への剣道体験会、外国籍児童や短期帰国子女の受入れ、日本スポーツ協会公認資格取得など多面的に活動してきました。このような地道な取り組みが円滑な実施につながったと考えています。

#### 五 課題と今後の展開について

今回の当会の取り組みは、他競

技への水平展開以上に、剣道競技における他地域への水平展開を重視しています。中学校部活動が廃止された場合、剣道経験機会が大幅に消失します。他競技との差別化を図り、社会に向けて剣道の良さや価値を発信し、関心を高め、触れる機会を作ることが必要だと思っています。例えば中学生で剣道を辞めたとしても、剣道関係人口として、将来再開する、或いはその子どもたちが剣道をはじめるといふ可能性も広がります。

地域移行については不透明な部分も多く、未だ道半ばです。時代変化に伴う改革は、旧態依然の考え方や固定観念を取り除かなければ実行できません。学校教育や社会教育のセクシヨナリズムを取り払い、中学生のため、剣道界のため、という信念を軸に今後も他の範となるよう進めていきたいと思っておりますので、皆さま方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、県内各少年剣道教室は、剣道発展のため、インスタグラムやフェイスブック等のSNSで剣道を発信し続けています。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



「信じる」

中能登町立中能登中学校

剣道部顧問 本吉 秀充

一 はじめに

八月に愛媛県松山市愛媛県武道館で開催された全国中学校剣道大会において、本校から男子個人戦に横井快紀選手、女子個人戦に桜木佑圭選手の二名が出演し、両選手共に、最高の舞台で、自分らしい剣道を発揮し、男子個人戦で三回戦進出、女子個人戦で三位入賞を果たすことができました。



また、石川県勢としても、男子団体戦で宇ノ気中学校が敢闘賞、女子個人戦で尾蔵花選手（小松桜木剣正会）が敢闘賞と四国の地で素晴らしい活躍を見せました。



これまで多くの方々をサポートして頂いたことに心から感謝いたします。

二 大会前

全国大会に向けての稽古では、今夏は酷暑だったため、道場では十分な練習量が確保できないと思い、冷房の入る教室、廊下で稽古をしました。三年生のサポートもあり、部員全員で、二人の特性や良さを認め、本人がもつ強みで勝負することを徹底して、練習を重ねました。

三 大会期間中

選手の最大限の力を発揮できるように待機時間、試合前、試合後はチームの表情、言動から心理状態を把握しながら伝える言葉に気を遣い、監督業に専念しました。選手たちと挑んだ全中での経験を通して「心を崩さない」ことの大切さを最も学ばせて頂きました。

四 おわりに

日々、私の目の前には輝く未来がある子ども達がいいます。可能性に満ち溢れている子どもの成長を促し、共に成長していける有難い立場だと感じています。今後も、私を育ててくださった先生方の剣道の教え、魅力を微力ながら伝承していきたいと思っています。そして、剣道を好きになつてほしい、剣道を

通して自らを成長させていってほしい、そんな想いで、剣道と向き合っています。

最後になりますが、多大なるご支援を頂いた中体連、剣道連盟、保護者、関係者の皆様をはじめ多くの方々にお礼を申し上げます。深く感謝いたします。

「ねんりんピック愛媛のえひめ2023」に参加して

監督 伊賀清秀

「第35回全国健康福祉祭」剣道交流大会が10月29日・30日に愛媛県松山市県立武道館において開催されました。本大会に石川県代表として出場した選手は、県予選会を勝ち抜いた次の5名です。

- 先鋒 泉 浩幸（野々市市）
  - 次鋒 田鶴直人（金沢市）
  - 中堅 宮谷順二（白山市）
  - 副将 安本正道（白山市）
  - 大将 坂下 弘（金沢市）
- 大会は、参加67チームが16ブロックに分かれ、予選二試合を行い各ブロック一位のみが決勝トーナメントに進出します。

本県は一回戦三重と対戦し、先

鋒が約40秒で面二本を取り、良い流れを作り3対0で勝利しました。

二回戦は群馬と対戦、打倒群馬を目指して頑張りましたが、0対4で完敗し残念ながら決勝トーナメント進出はなりませんでした。

本大会に出場する選手のレベルが年々上がっており、また高段者が多数出場し、しかも高齢を感じさせないような身のこなしや技を出し、平素からの稽古に励んでいるものと感じました。

大会に先立ち、高齢者（80歳以上男性4名・60歳以上女性3名）の表彰が行われ、背筋が伸びた剣道着姿に大変感銘を受けました。また、試合においても足さばきや積極的な攻撃等、とても80歳を超えた方には見えませんでした。



人生100年「健康維持」と「生涯剣道」を目指し、私自身これからも稽古に励みたいと思います。



# 中央審査合格体験記

## 「剣道六段に合格して」



小松市 中西 美智

十一月の名古屋審査会で、六段に合格することができました。初回挑戦での合格は今も信じられない気持ちです。

金大医短入学時、剣道部創設に誘われて初めて剣道に出会い、五年間位稽古をして三段を取得した後、再開したのは、結婚して長男が少年剣道に入ったのがきっかけでした。四段を目指した四〇代前半は、仕事と三人の子育て、親の介護が重なり多忙な毎日でした。もともと身体を動かすことが好きな私は、市剣道協会の日曜稽古に参加することとは、唯一自分のための時間でした。四段審査を何度もうけ、心が折れそうな時もありましたが、ようやく合格できたのは、上の二人が高校と大学の受験の年でした。審査に疲れた私は、下の子の受験が全て終わるまでは審査を受けないことに決め、稽古を続けていました。

仕事が定年を迎える頃に、岩脇律子先生から、審査を受ける目標を持つことで技術の向上にも繋がるとご指導を頂き、五段を目指すことにしました。五、六回挑戦やっと合格できたのは、長年勤めた職場を退職した翌年でした。

現在、稽古は日曜稽古と月曜日の錬精会にできる限り参加し、恵まれた環境でご指導を頂いています。審査前には協会の夜の稽古にも参加し、昇段審査は試合ではなく、日頃の稽古の成果を見て頂く機会であることや、一分間の審査中や審査に臨む前の心の持ち方などについて細やかにご指導を頂きました。また、来年古希を迎える私に、稽古をやり過ぎて本番に体調を崩さないようにという温かいお言葉も頂きました。当日は普段の稽古と審査前のこれら全ての先生方のご指導のお陰で、これまで受けた審査とは違って、落ち着いた気持ちで受審することができたように思います。合格と分かった時には先生方への感謝の気持ちで胸が熱くなりました。それと同時に会場の下見と当日の送迎をしてくれた家族にも感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これまで、剣道を通して沢山の素晴らしい先生方や仲間に出会うことができました。これからも心身の健

康づくりのために、武道館で元気な子供たちと一緒に、剣道を継続していきたいと思えます。継続は力なり

### 各種表彰 (稽古納め) 【公財】全日本剣道連盟

#### 【剣道有功賞】

守田 晴一(金沢市剣道連盟顧問)

#### 【少年教育奨励賞】

金沢西警察署少年剣道教室  
東明剣道スポーツ少年団

(公財) 日本スポーツ協会

#### 【公認スポーツ指導者等表彰】

上登 正人(能美郡市剣道連盟)

(二財) 石川県剣道連盟より

#### 【少年剣道教室指導者】

※地域の少年剣道教室指導に尽力

畦地 大介(山中少年剣道教室)

堀内 宏子(千代野剣道スポーツ)

杉山 剛(游神館)

宮谷 秀一(横山少年剣道教室)

蓮本 義哲(千里浜剣道教室)

国分 雅史(能都剣道スポーツ)

鈴木 文雄(門前少年剣道教室)

#### 【会長表彰】

全国中学校剣道大会女子個人3位

桜木 佑圭(中能登中2年)

#### ※感謝状

林藤 武道具

橋本 武道具

### 【全国大会等記録】(7~12月)

第15回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

7月9日、日本武道館

一回戦 福岡 ②-1 石川

#### 第44回北信越中学校剣道大会

8月1日、松任総合運動公園園体育館

◇男子団体(決勝トーナメント)

▽準々決勝

宇ノ気 ②-0 松代(長野)

▽準決勝

奥田(富山) 代①-1 宇ノ気

◇女子団体(決勝トーナメント)

▽準々決勝

宇ノ気代②-2 呉羽(富山)

中能登 ②-1 鯖江(福井)

松代(長野) 代①-1 剣正会

▽準決勝

中央(福井) ②-1 宇ノ気

中能登 ②-0 松代(長野)

▽決勝

中央(福井) ②-0 中能登

◇男子個人

第三位 横井快紀(中能登)

第五位 大山幹太(宇ノ気)

◇女子個人

優勝 中農 陽(宇ノ気)

第三位 森 瑞姫(宇ノ気)

第五位 尾蔵 花(剣正会)

第五位 桜木佑圭(中能登)

#### 第70回全国高等学校剣道大会

8月3~6日、よつ葉アリーナ十勝

◇男子団体▽予選リーグ

五所川原第一 ②-1 羽咋工業

東農大二(群馬) ⑤-0 羽咋工業



◇女子団体

▽予選リーグ

- 札幌日大 ④-1 羽 昨
- 大社(島根) ④-0 羽 昨

◇男子個人

- 平田新星(羽咋) 三回戦敗退
- 辻俊乃介(七尾) 一回戦敗退
- 女子個人
- 亀井琴葉(金沢) 三回戦敗退
- 松生惟里(羽咋) 一回戦敗退

第65回全国教職員剣道大会

8月10日、松江市総合体育館

- 男子団体(トーナメント)
- 一回戦 石川 ①-0 沖縄
- 二回戦 島根 ②-1 石川
- 男子個人▽二回戦
- 村瀬(愛知) メー 久保洗旗
- 女子個人▽二回戦
- 山村(佐賀) メー 吉田真衣

第53回全国中学校剣道大会

8月18~20日、愛媛県武道館

- 男子団体▽予選リーグ
- 宇ノ気 0-0 東海大静岡翔洋
- 宇ノ気 ③-0 宮之城(鹿児島)
- ▽決勝トーナメント一回戦
- 宇ノ気 ②-1 古賀(福岡)
- ▽準々決勝
- 安佐(広島) ④-0 宇ノ気

◇女子団体▽予選リーグ

- 北信(福島) ②-1 宇ノ気
- 宇ノ気 ②-0 南部(和歌山)
- 男子個人
- 横井快紀(中能登) 三回戦敗退
- 小川綸太郎(剣正会) 二回戦敗退

◇女子個人

- 第三位 桜木佑圭(中能登)
- 第五位 尾蔵 花(剣正会)

第62回全日本女子剣道選手権大会

9月3日、ジェイテクトアリーナ奈良

- ▽一回戦
- 鈴木(山形) メー 横山 雅

第69回全日本東西対抗剣道大会

9月24日、沖縄県立武道館アリーナ

- 西(鹿児島) メー 岩脇律子
- 大淵(福岡) コメーメ 岩脇 司
- ※岩脇 司選手は優秀試合賞受賞

特別国民体育大会剣道大会

10月8~10日、霧島市牧園アリーナ

- ◇成年男子
- 一回戦 石川 ②-1 群馬
- 二回戦 石川 ④-1 奈良
- 三回戦 山口(代) ①-1 石川

第35回全国健康福祉祭剣道交流大会

10月29~30日、愛媛県武道館

- 予選二回戦 石川 ③-0 三重
- 予選一回戦 群馬 ④-0 石川

第58回全日本居合道大会

10月21日、東京武道館

- ▽七段の部
- 作田剛也 ②-1 船津(島根)
- 原田(神奈川) 0-③ 作田剛也
- ▽六段の部
- 畑中(長崎) 0-③ 二木有紀江
- ▽五段の部
- 村橋(岐阜) 0-③ 田中 甚

第70回全日本剣道選手権大会

11月3日、日本武道館

- ▽一回戦
- 星子(東京) メー 大田貢平

第71回全国青年大会剣道大会

11月11~12日、東京武道館

- 男子団体
- 二回戦 石川 ④-0 長野
- 準々決勝 三重 ④-0 石川
- ※石川県は敢闘賞受賞
- 女子団体
- 一回戦 東京 ①-0 石川

中央審査会合格者

◇剣道

▽七段 永原 一 宇波 信彦

▽六段 櫻木武次郎 竹野内孝穂

奥野 雅貴 加藤 陵

川田 英生 中西美智子

本吉 秀充 安田 佳史

田中 正人 佐竹 康弘

二塚 良一 岡田 浩之

吉田 一気 篠井 皓太

内田健太郎 山岸 豊和

◇居合道

▽錬士 望月 隆

▽錬士 源 美奈子

# 林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83  
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240  
HP <http://www.rindoubudougu.jp/>  
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業品目】  
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般  
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



## 武道具のハジメト

金沢市上荒屋7丁目67 TEL 249-8233  
〒921-8065 FAX 249-9139